

平成20年度(第11回)

学生生活実態調査報告書



香川大学



ま え が き

香川大学では学生の視点に立って学習環境や生活環境の向上を図ることを目的に、昭和61年度から本調査を実施し、教育改革の基礎資料として活用させていただいております。

今回実施した平成20年度（第11回）アンケートでは、紙ベースのアンケート方法から電子媒体を用いた方法に変更したこと等もあり、大部分が春季休業中という回答困難な時期での実施となりましたが、約600名の学生諸君から回答がありました。

本学は、「地域に根ざした学生中心の大学」を目指すことを教育目標として掲げています。この教育目標を達成するためには、学生諸君の意見や提案を真摯に受け止め、大学運営に反映させることが重要であり、本調査はそのための重要な役割を果たしています。

昨今、学生の間でも生活習慣病予備軍の低年齢化が進み、健康面での影響が心配されています。こうした原因の一つに、経済状況の悪化が挙げられます。親元からの仕送り額も減少傾向にあり、学生の生活状況にも変化が見受けられるようになりました。

その結果、食費を節約する学生が増加し、簡便な食品で食事を済ませたり、欠食するなど健康管理上深刻な問題となっています。

そこで、今回のアンケートではトピックスとして福利厚生を取り上げました。大学として課題解決に向け組織的に取り組み、学生の生活環境向上に繋げていきたいと考えています。

本調査は、学生諸君の生の声を今後の大学施策に反映させるため、2年に1回のアンケートを実施してきましたが、本年度から毎年実施し、更に充実させていく予定です。学生諸君からの回答は、関係部局にも照会し、改善、改革等の対応策を講じます。今後も多くのご意見を頂けますようお願いいたします。

最後に、本報告書の作成にご尽力いただきました学生生活委員及び関係職員に心からお礼申し上げます。

平成21年9月

教育担当理事（副学長）

阿 部 文 雄

平成21年度学生生活実態調査部会構成員

理事（教育担当）	阿	部	文	雄
教 育 学 部	繪	内	利	啓
法 学 部	塚	本	俊	之
経 済 学 部	王			維
医 学 部	飴	野		清
工 学 部	富	永	浩	之
農 学 部	木	村	義	雄
保健管理センター	杉	岡	正	典

目 次

第1章 香川大学学生生活実態調査について

- (1) 調査の目的 1
- (2) 調査実施期間 1
- (3) 調査の対象と方法 1
- (4) 調査の内容及び項目 2
- (5) 集計と報告書の作成 2

第2章 調査結果の概要について

I. 基本的事項について

- 1. あなたの属性について 3
- 2. あなたの通学方法について 5
- 3. 経済状況について 7

II. キャンパスライフについて

- 1. 学 業 9
 - (1) 学部・学科の満足度 9
 - (2) 今後の希望 10
 - (3) 1日の勉強時間 11
 - (4) 教員との交流 12
 - (5) 学生窓口（各学部の学務係等）の対応 13
 - (6) 図書館の利用 14
 - (7) 図書館の利用目的 15
- 2. 課外活動 16
 - (1) サークルへの加入 16
 - (2) サークル加入の動機 17
 - (3) サークルの感想 18
 - (4) 学業との両立 19
 - (5) サークルに加入しない理由 20
- 3. 就 職 21
 - (1) 卒業後の進路 21
 - (2) 就職を考え始めた時期 22
 - (3) 希望する分野 23
 - (4) 職業選定で重視すること 24
 - (5) 就職希望地域 25
 - (6) 就職活動で不安なこと 26
 - (7) 就職について相談した相手 27
 - (8) 就職に関する大学への要望 28

4. 学生のキャリア意識	29
(1) 学生のキャリア意識	29
(2) 現時点での卒業後の進路	30
5. 福利厚生施設	31
(1) 学生食堂（生協食堂）について	31
(2) （生協）売店について	33
(3) 福利厚生施設への希望	34

Ⅲ. 個人生活について

1. 住居	39
(1) 住居の形態	39
(2) 入寮の検討	40
(3) 学生寮を選んだ理由	41
(4) 学生寮を選ばなかった理由	42
2. 健康	43
(1) 現在の健康状態	43
(2) 保健管理センターの利用について	44
(3) 身体の具合が悪くなったときの対処方法	46
(4) 飲酒について	47
(5) 喫煙について	48
(6) 1日の睡眠時間について	49
(7) 1日の食事の回数について	50
(8) 精神的ストレス	51
(9) ストレスの原因	52
(10) 悩みの対処方法	53
(11) 学内の友人関係	54
3. アルバイト	55
(1) 過去1年間のアルバイト経験	55
(2) アルバイトの主な職種	56
(3) アルバイト収入の使途	57
(4) アルバイトに費やす時間	58
(5) アルバイトと学業の関係	59
(6) アルバイトを選ぶ基準	60
4. ボランティア活動	61
(1) ボランティア活動の経験	61
(2) ボランティア活動の内容	62
(3) ボランティア活動の年間活動日数	63
(4) ボランティア活動への関心	64
(5) 今後やってみたいボランティア活動	65

第3章 自由記述への回答について	67
------------------	----